

愛知県がんセンター 概 要

令和8年度



基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 高度な医療安全管理体制のもと、根拠に基づいた良質で高度な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した高度な医療技術の研究開発を推進します。
5. 教育と研修を充実し、高度ながん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の普及と向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県から国際社会へ貢献します。

患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門の特定機能病院として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

患者さんの権利

1. 年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰でも良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんの迷惑になる行為や診療の妨げになる行為は慎んでください。
4. 診療費は速やかにお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

愛知県がんセンター子どもの権利

1. 子どもたちは、一人の人間として尊重され良質でおもいやりのある医療を受ける権利があります。
2. 子どもたちは、自分の病気や自分の受ける治療について十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 子どもたちは、自分の受ける治療について自由に意見を述べ、治療方針を選択あるいは拒否する権利があります。
4. 子どもたちは、疑問に思うことや不安なことがあるときには、いつでも分かりやすく教えてもらう権利があります。
5. 子どもたちは、自分の受ける治療についての話し合いに参加し、意見を表明することが難しい場合には、ご家族や親権者に代わりに決定してもらうことができます。

目 次

目 的	2
沿 革	2
設置の根拠	3
施設の概要	3
所在地 土地・建物 病院 研究所	
組織と職員定数	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務	10
会計予算 経営状況 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備	19
備品 附属設備	
病院業務	20
診療科目等 外来診療の流れ 患者状況 治療・検査件数等	
研究業務	29
重点プロジェクト研究課題等	
類似病院との比較	32
外来診療案内・入院案内	33
交通案内	34

目 的

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

沿 革

昭和36年 1月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年12月 1日	業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）】
昭和44年 3月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4年 2月29日	病棟竣工
平成 4年 5月18日	新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】
平成 6年 3月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6年 5月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7年 6月30日	立体駐車場竣工
平成 9年 3月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2月 7日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4月 1日	臨床研修病院の指定
平成14年 8月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4月 1日	地方公営企業法の全部適用
平成17年 4月 1日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成22年10月 1日	尾張診療所（一宮市）開設
平成25年 7月 1日	外来化学療法センター開設
平成26年 3月31日	尾張診療所（一宮市）閉所
平成26年 4月 1日	地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター開設
平成28年10月 1日	サルコーマセンター開設
平成29年 4月 1日	個別化医療センター開設
平成30年 4月 1日	リスク評価センター開設
平成31年 3月28日	がんゲノム医療センター開設
平成31年 4月 1日	愛知病院が岡崎市へ移管
平成31年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
令和元年 9月19日	がんゲノム医療拠点病院の指定
令和 2年 7月 3日	病院機能評価「一般病院3」の認定（機能種別版評価項目3rdG:ver2.0） 認定期間：令和元年 9月27日～令和 6年 9月26日
令和 3年 5月24日	愛知県がんセンター名古屋空港ターミナルビル診療所を開設
令和 4年 4月 1日	個別化医療センター、リスク評価センター、がんゲノム医療センターを統合し、ゲノム医療センターを開設
令和 4年12月 1日	特定機能病院として承認
令和 5年 3月25日	愛知県がんセンター名古屋空港ターミナルビル診療所を閉所
令和 5年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新 がんゲノム医療拠点病院の更新
令和 6年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新

設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置
 現 在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

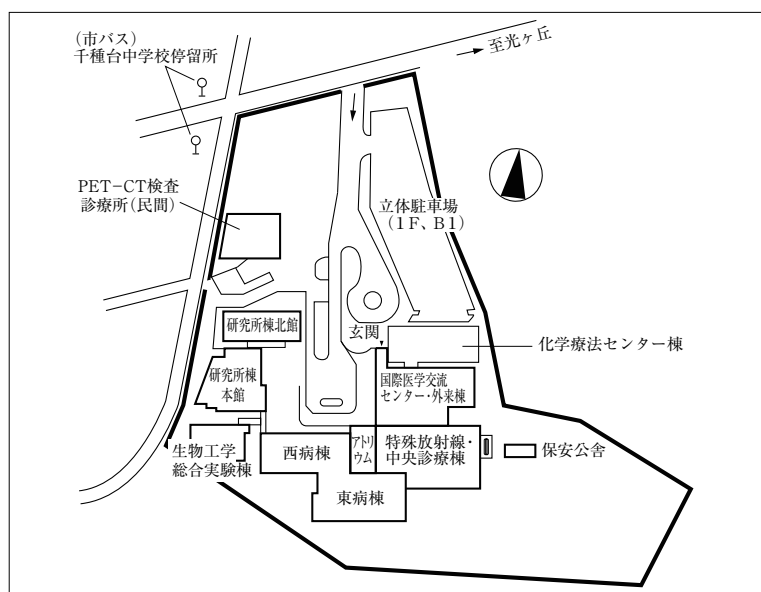
業務の内容

- ア 悪性新生物に関する予防、診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての臨床研究、調査及び研究開発を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者及び研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査及び研究開発を行う者に施設を利用させること

施設の概要

所在地 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(令和8年4月1日現在)



土地・建物

(令和8年4月1日現在)

区 分	構 造 ・ 規 模	延 床 面 積	
土 地		49,788.56 m ²	
建 物	合 計	69,580.13 m ²	
	病 棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階	28,662.79 m ²
	特殊放射線・中央診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m ²
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m ²
	化学療法センター棟	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1,992.92 m ²
	研 究 所 棟 本 館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m ²
	研 究 所 棟 北 館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	3,244.43 m ²
	生物工学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	2,116.03 m ²
	保 安 公 舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m ²
	立 体 駐 車 場	鉄筋コンクリート造2層建	6,312.07 m ²
そ の 他	危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等	346.86 m ²	

病 院

(令和8年4月1日現在)

(東) 病 棟 (西)

内 容		病床数	階別	内 容		病床数	
機械室			塔屋	機械室			
特別病棟 (混合)		25床	9階	特別病棟 (混合)		25床	
特別病棟 (混合)		30床	8階	一般病棟 (薬物療法科、頭頸部外科、整形外科、治験、緩和ケア(緊急))		52床	
一般病棟 (消化器内科・消化器外科)		51床	7階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科)		52床	
一般病棟 (呼吸器内科、呼吸器外科、薬物療法科、感染症病床、治験)		51床	6階	一般病棟 (血液・細胞療法科、泌尿器科、放射線診断科、IVR科、治験)		51床	
空調機械室	小線源病棟 (4床) 一般病床 (頭頸部外科、脳神経外科)	52床	5階	一般病棟 (女性専用) (乳腺科、婦人科)		51床	
手術部門、輸血部門 外来処置室		ICU病棟	8床	4階	一般病棟		52床
臨床検査部門		アイソトープ検査部門 管理部門(看護部)等		3階	管理部門 (総長室、病院長室等)		
放射線診断・IVR部門		内視鏡部門 生理検査部門		2階	管理部門 (医局等)		
中央滅菌材料室、供給部門		憩いのフロア、アトリウム (食堂、売店等)		1階	入院受付 管理部門 (運用部等)		
放射線治療部門、電気室		栄養管理部門		地階	中央監視室、熱源機械室		

(病床合計 500床)

国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3 階	外科系診察室、臨床検査部門 (一部)、緩和ケアセンター
2 階	総合案内、外来受付、予約受付、会計、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター、薬剤部門 (薬局受付)、臨床検査部門 (一部) 等
1 階	国際医学交流センター (メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地 階	薬剤部門 (供給室等)、カルテ・フィルム庫

化学療法センター棟

階 別	内 容
2 階	外来化学療法センター
1 階	臨床試験部門
地 階	薬剤部門 (ミキシング室等)

坂口志文先生のノーベル生理学・医学賞受賞記念講演会

令和7年12月10日にノーベル生理学・医学賞を受賞された坂口志文先生を、令和8年2月23日に愛知県がんセンターにお招きし、記念講演会を開催した。

坂口先生は京都大学大学院を中退し、昭和52年から約3年間、当センター研究所の研究者として免疫学の研究に取り組まれた。

当日は、「制御性T細胞と新しい免疫医療」をテーマに、これまでの研究の道のりや今後の展望などについて御講演いただくとともに、生命科学系分野の研究者を志す学生などに対して、研究の最前線で培われた知見、さらには研究者としての視点や姿勢についてお話しいただいた。また、会場に集まった約280人の学生らに対して「何事にも時間がかかる。どんな時にも楽天的であることが大切。」と、ご自身の経験を踏まえたメッセージを送られた。

今回の講演会が、未来の医学・生物学研究を担う人材の育成に寄与し、次代を担う研究者が数多く羽ばたく契機となることを期待している。



歌手の一青窈さんによる院内ライブ開催

令和7年5月13日、がんセンター国際医学交流センターの大会議室で、歌手の一青窈さんによる院内ライブを開催した。

当日は、「ハナミズキ」や「もらい泣き」などの代表曲を含む全7曲が披露され、入院などにより音楽を聴きに出かけるのが難しい患者さんやそのご家族並びに医療スタッフなど約80名が手拍子をするなどして楽しんだ。

歌の合間には、一青窈さんが参加者へ直接声をかけて回ったり、時には患者さんを抱擁したりと、通常のライブでは味わえない近い距離感でのライブとなり、会場はやさしく温かな雰囲気に包まれた。

熱唱する一青窈さんの歌声に感動して涙を流す患者さんに、一青窈さんも心を動かされ、「もらい泣きしちゃった」と目頭を押さえる場面もあり、音楽を通じた心の交流から深い感動が生まれた。

参加者からは、「心が癒されました」、「こんな機会に恵まれて本当によかった」などの声が寄せられ、音楽の持つ力とその場の一体感の大きさを改めて実感する貴重なひとときとなった。

今後も当センターでは、医療だけでなく、患者さんに寄り添った心のケアにも目を向けた取り組みを継続していく所存である。



質改善部の設置について

令和8年度より、質改善部は愛知県病院事業庁組織規程に位置付けられた。これにより、これまで院内組織として実施してきた医療の質向上に関する取組を、より明確な体制のもとで継続的かつ計画的に推進することとなった。質改善部では、診療や業務に関するデータの収集・分析を通じて課題の把握を行い、改善活動の企画・実施・評価につなげている。加えて、可視化プロジェクトや院内独自の質評価項目の運用を継続し、中間評価および最終評価を通じた進捗管理を行っている。また、イントラネットを活用した目標および

評価結果の共有、外来待ち時間等の指標に基づく各部門へのフィードバック、職員からの提案を受け付ける「よろず箱」の活用などを通じ、現場の視点を踏まえた改善の推進に取り組んでいる。さらに、各部署の取組を共有する場として病院長杯を開催し、院内全体での意識向上と取組の可視化を図っている。今後も、これらの活動を着実に積み重ね、院内の質改善を継続的に推進していくものである。



CT装置の更新(キヤノンAquilion ONE / INSIGHT Edition)

令和8年3月に最新CT装置(320列)が導入された。

この装置は、先進のAI技術と超解像DeepLearning再構成技術「PIQE(Precise IQ Engine Reconstruction)」が搭載されており、これにより従来と比べて様々なメリットが期待される。



【導入装置の特徴と期待される効果】

- ・AIを活用した自動化技術により、技師のワークフローが効率化され、検査の進行がよりスムーズになる。
 - ・超高精細CT画像を教師データとしたPIQEによる画像再構成により、旧装置よりも大幅に少ない放射線量で微細構造の描出が可能となり、診断能の向上が期待できる。
 - ・新型検出器と新型X線管球の導入により、低管電圧・高出力での撮影が可能である。これにより、腎機能が低下した患者さんには造影剤の使用量を減らした検査、高体重の患者さんに対しても安定した画質が担保でき検査の適応範囲が広がる。
- 当院でもこの最新装置を活用し、より質の高い医療を提供できることが期待される。

新規リニアック装置(OXRAY)

令和7年に本装置は本邦で7台目の装置として設置された。強度変調放射線治療(IMRT)や定位放射線治療(ピンポイント照射)などの高精度放射線治療の需要は年々増加しており本治療器はこれらの臨床的ニーズに対応すべく導入された。本治療器は国産唯一の外部照射装置で全周性の照射システムのリングガントリーが寝台に対して回旋することにより患者移動なく効率よく定位放射線治療が実施可能となる。また内蔵のジンバル機能により追尾照射(息止めなく肺病巣に最小の照射範囲で正確に治療ができる)も可能となる。Dynamic Swing Arc治療というこの装置のみが実施可能な高精度のIMRTの実施が可能となり従来のIMRTの技術より頭頸部癌や肺癌等の治療で正常臓器への放射線量を低減することが可能となる。この装置の導入により高精度放射線治療の実施件数の増加、精度の向上が可能となり、かつ患者さんにより有効で安全な治療を提供することが可能となる。また本邦でも設置施設は少ないことより新規治療件数増加が期待できる。



研究所

(令和8年4月1日現在)

研究所棟本館

	フロア	南	北	フロア	
生物学総合実験棟	6階	電気室	空調機械スペース	6階	研究所棟北館
	5階	腫瘍免疫応答研究分野	(腫瘍免疫制御TR分野)	5階	
	4階	(分子診断TR分野)	腫瘍制御学分野	4階	
	3階	がん標的治療TR分野	がん病態生理学分野	3階	
	2階	がん予防研究分野 がん情報・対策研究分野	(分子腫瘍学分野)	2階	
	1階	共通機器室	共通機器室実験室	1階	
空調機械スペース	地階	熱源機械室	実験動物飼育・実験室 その他	地階	空調機械スペース
異分野融合研究開発分野 先端イノベーション研究開発ユニット	3階	がん標的治療TR分野	がん病態生理学分野	3階	所長室 セミナー室 がん情報・対策研究分野 システム解析学分野 がん予防研究分野 他
共通機器室管理室 バイオバンク部門 医局	2階	がん予防研究分野 がん情報・対策研究分野	(分子腫瘍学分野)	2階	図書室 共通機器室 小会議室 レジデント室 他
バイオバンク部門 共通機器室 学生研修室・更衣室 会議室	1階	共通機器室	共通機器室実験室	1階	電算機室 保育所 他
空調機械室 電気室	地階	熱源機械室	実験動物飼育・実験室 その他	地階	電気室 その他

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階（一部6階）、総床面積7,113㎡である。2階から5階には9つの分野の研究室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室、暗室などが設置されている。1階の共通機器室には最先端の研究用精密機器が整備され、地下には動物実験施設が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階、総床面積3,244㎡で、所長室等の管理部門、3つの分野の研究室、共通機器室、がん登録室、図書室、セミナー室、電算機室などが設置され、平成26年4月からは保育所も

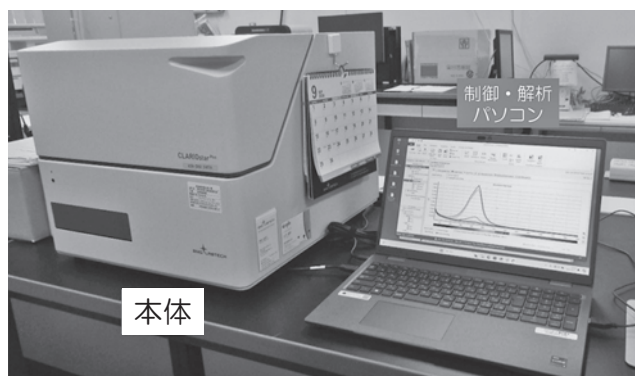
開設されている。

生物学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。1階、2階は平成29年度に改修され、1階にはがんセンターバイオバンク愛知のフリーザー室、共通機器室、2階には共通機器室管理室に加えて、同バイオバンクの作業室が整備された。3階は令和元年度に改修され、現在は、名古屋大学との連携により令和6年度に発足した「異分野融合イノベーション推進領域」の研究室（1分野、1ユニット）が設置されている。



1. マイクロプレートリーダー

マイクロプレートリーダーは、プレートの6個から384個の穴に試料を入れ、それらの吸光度や蛍光強度を連続で自動的に測定する機器である。酵素反応、細胞増殖、薬剤結合アッセイ、細胞毒性試験など、様々な用途で用いることができる。以前からある機器の後継機として整備されたが、TR-FRETなどの新しい分析手法にも対応しており、非常に使用頻度の高い機器となっている。



マイクロプレートリーダー

2. 超遠心機

超遠心機は、試料を入れた専用のチューブを毎分数万回転以上の超高速で回転させて、遠心力によって生体高分子を分離精製する機器である。古くから生物学研究に用いられてきた機器であり、以前は核酸やたんぱく質の精製に盛んに用いられてきた。近年では、細胞外小胞やウイルス粒子の精製に高頻度で用いられる機器となっている。研究所では、近年再度使用頻度が上昇してきたため、更新機器として整備された。



超遠心機

3. 自動電気泳動システム

細胞や組織から抽出した DNA および RNA の品質を調べる装置である。DNA や RNA は抽出後、次世代シーケンサやマイクロアレイなどにつけられ、解析が行われるが、その元となる DNA、RNA の品質は解析の精度に影響するため、それらの品質を管理することは重要である。本装置の専用の解析ソフト、試薬を用いることで、簡便かつ正確に DNA、RNA の品質を調べることが可能となる。



自動電気泳動システム

4. スライドスキャナ

スライドスキャナは、病理組織標本のスライドガラスを高速でスキャンして、高精細で定量性の高いデジタル画像を取得する装置である。多数のスライドガラスを高速で自動処理することができる。デジタルデータが得られるため、染色結果の経年劣化を回避できるだけでなく、数値化も容易となり、定量的な解析が可能となる。さらに研究者間でデータを共有することも容易である。



スライドスキャナ

組織と職員定数

組 織 (令和8年4月1日現在)



役職者一覧表

(令和8年4月1日現在)

役職名		氏名	備考	役職名		氏名	備考
総 運用部	長	丹羽康正	事務取扱	病 院	感染症内科部長	欠	
	運用部長	横井満			緩和ケア部長	下山理史	
	管理課長	稲吉久恵			精神腫瘍科部長	小笠原一能	
	経営戦略課長	鈴木雅登			看護部長	山崎祥子	副院長(兼)
病 院	病院長	山本一仁			薬剤部長	内田幸作	
	副院長	室圭			臨床薬剤部長	加藤正孝	
		花井信広			栄養管理部長	田近正洋	内視鏡部長(兼)
		稲葉吉隆			医療安全管理部長	室圭	副院長(兼)
		安部哲也			質改善部長	花井信広	副院長(兼)
	山崎祥子		感染制御部長		藤原豊	呼吸器内科部長(兼)	
	消化器内科部長	原和生			臨床試験部長	安藤正志	
	内視鏡部長	田近正洋			スマートスピカ・医療DX推進部長	伊藤誠二	手術部長(兼)
	呼吸器内科部長	藤原豊			外来化学療法センター長	室圭	副院長(兼)
	血液・細胞療法部長	楠本茂			希少がん・サルコマセンター長	筑紫聡	整形外科部長(兼)
	薬物療法部長	室圭	副院長(兼)		ゲノム医療センター長	衣斐寛倫	
	臨床検査部長	小久保学			地域医療連携・相談支援センター長	花井信広	副院長(兼)
	遺伝子病理診断部長	細田和貴		緩和ケアセンター長	下山理史	緩和ケア部長(兼)	
	輸血部長	楠本茂	血液・細胞療法部長(兼)	乳腺センター長	原文堅	乳腺科部長(兼)	
	頭頸部外科部長	花井信広	副院長(兼)	研究所長	井本逸勢		
	形成外科部長	奥村誠子		副所長	青木正博		
	呼吸器外科部長	坂倉範昭		副所長	松尾恵太郎		
	乳腺科部長	原文堅		がん情報・対策研究分野長	伊藤秀美		
	消化器外科部長	安部哲也	副院長(兼)	がん予防研究分野長	松尾恵太郎	副所長(兼)	
	整形外科部長	筑紫聡		がん病態生理学分野長	青木正博	副所長(兼)	
リハビリテーション部長	吉田雅博		分子腫瘍学分野長	欠			
泌尿器科部長	小島崇宏		システム解析学分野長	山口類			
婦人科部長	鈴木史朗		腫瘍制御学分野長	小根山千歳			
脳神経外科部長	大野真佐輔		腫瘍免疫応答研究分野長	鍋倉宰			
麻酔科部長	仲田純也		腫瘍免疫制御トランスレショナルリサーチ分野長	欠			
集中治療部長	小森康司		分子診断トランスレショナルリサーチ分野長	欠			
放射線診断部長	稲葉吉隆	副院長(兼)	がん標的治療トランスレショナルリサーチ分野長	衣斐寛倫	病院ゲノム医療センター長(兼)		
放射線I VR部長	欠		異分野融合研究開発分野長	山西芳裕	(名古屋大学大学院教授)		
放射線治療部長	古平毅		先端イノベーション研究開発分野長	欠			
外来部長	堀尾芳嗣		共通機器室長	青木正博	副所長(兼)		
手術部長	伊藤誠二		バイオバンク部門長	松尾恵太郎	副所長(兼)		
循環器科部長	欠						

職種別・職員定数一覧表

(令和8年4月1日現在)

職種別	部門別	総数	運用部	病院	研究所
総務	数	780	33	694	53
医療社会事業員		40	32	4	
医師		2		2	
歯科医師		161	1	131	29
理学士・研究員		2		1	1
診療放射線技師		13		1	12
理学療法士		30		30	
言語聴覚士		5		5	
作業療法士		1		1	
薬剤師		1		1	
臨床検査技師		38		38	
臨床工学技士		32		31	1
看護		7		7	
看護助手		404		404	
栄養士		1		1	
歯科衛生士		3		3	
その他給食関係職員		1		1	
臨床試験コーディネーター		12		12	
遺伝カウンセラー		14		14	
診療情報管理士		3		3	
研究補助		4		4	
		10			10

管理業務

会計予算

(収益的収入支出)

(単位：千円)

(款) 項	目	金 額	
		令和7年度当初予算	令和8年度当初予算
(事業収益)		28,384,811	29,823,583
医業収益		25,191,820	26,546,146
	入院収益	12,027,984	12,380,321
	外来収益	10,500,723	11,695,655
	一般会計負担金	1,237,502	1,100,592
	その他医業収益	1,425,611	1,369,578
医業外収益		3,192,991	3,277,437
	受取利息配当金	1	1
	一般会計負担金	1,717,060	1,734,200
	一般会計補助金	1,713	1,642
	国庫補助金	33,996	35,947
	長期前受金戻入	135,818	98,928
	資本費繰入収益	522,830	615,970
	その他医業外収益	781,573	790,749
特別利益	特別利益	0	0
(事業費用)		27,727,530	29,400,355
医業費用		27,449,280	29,118,906
	給与費	10,203,102	10,556,165
	材料費	11,226,444	12,612,196
	経費	3,554,780	3,501,843
	減価償却費	1,446,281	1,445,945
	資産減耗費	27,888	26,606
	研究研修費	990,785	976,151
医業外費用		273,250	276,449
	支払利息・企債諸費	68,589	60,125
	長期前払消費税償却	93,075	100,351
	雑損失	8,001	7,001
	消費税及び地方消費税	103,585	108,972
特別損失		0	0
予備費	予備費	5,000	5,000
差引損益		657,281	423,228

(資本的収入支出)

(単位：千円)

(款) 項	目	金 額	
		令和7年度当初予算	令和8年度当初予算
(資本的収入)		1,347,202	1,441,827
企業債	企業債	699,330	700,800
国庫支出金	国庫補助金	0	0
他会計負担金	一般会計負担金	522,872	616,027
他会計補助金	一般会計補助金	0	0
雑収入	雑収入	125,000	125,000
(資本的支出)		2,028,741	
建設改良費		60,280	56,000
	建設費	0	0
	改良費	60,280	56,000
資産購入費		1,150,135	1,099,525
	医療器械購入費	794,973	719,443
	備品購入費	50	50
	リース債務費	355,112	380,032
企業債償還金	企業債償還金	723,590	852,264
他会計借入金償還金	一般会計借入金償還金	94,736	0
収 支		△ 681,539	1,441,827

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

経営状況

(単位：千円・税抜き)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業収益	24,066,253	22,912,356	25,398,419	26,021,241	27,576,056	
内 訳	入院収益	8,575,384	8,332,581	9,774,368	10,651,274	10,947,297
	外来収益	8,875,168	9,088,114	10,298,438	10,142,447	11,235,184
	一般会計負担金	2,768,775	2,635,825	2,849,897	2,868,216	2,855,202
	その他	3,846,926	2,855,836	2,475,716	2,359,304	2,538,373
	特別利益	0	0	0	0	0
事業費用	23,051,059	23,948,783	25,075,023	26,057,754	27,537,474	
内 訳	給与費	9,036,220	9,155,811	9,131,758	9,568,516	9,941,678
	その他	14,004,589	14,468,105	15,943,265	16,489,238	17,595,796
	特別損失	10,250	324,867	0	0	0
純 損 益	1,015,194	△ 1,036,427	323,396	△ 36,513	38,582	

がん患者状況（院内登録） 年次別・部位別がん患者数（男女計）1964－2024

※平成8年までは、ICD 9による集計

区分 (ICD10)	がんの部位														
	全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33,C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82,C84, C85,C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年(1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年(1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	15	19	108
昭和41年(1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	23	17	102
昭和42年(1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	21	12	102
昭和43年(1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	23	20	95
昭和44年(1969)	1,572	42	488	20	68	21	131	120	203	287	19	22	26	10	115
昭和45年(1970)	1,566	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	21	23	114
昭和46年(1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	26	12	134
昭和47年(1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	29	17	115
昭和48年(1973)	1,494	41	390	32	73	28	116	132	190	282	12	26	31	13	128
昭和49年(1974)	1,366	54	348	36	61	9	114	121	225	222	14	25	29	9	99
昭和50年(1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	35	19	113
昭和51年(1976)	1,330	39	353	32	92	25	66	119	205	236	12	18	36	2	95
昭和52年(1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	24	15	118
昭和53年(1978)	1,400	53	347	44	76	15	70	134	232	212	15	24	23	9	146
昭和54年(1979)	1,370	37	339	54	49	28	84	132	243	197	12	25	39	9	122
昭和55年(1980)	1,386	48	335	56	72	23	68	136	290	165	15	27	31	14	106
昭和56年(1981)	1,371	43	327	48	73	32	51	144	304	162	16	22	31	11	107
昭和57年(1982)	1,353	35	297	50	70	27	69	154	320	172	10	15	30	13	91
昭和58年(1983)	1,420	50	301	78	86	26	72	156	300	162	12	19	38	13	107
昭和59年(1984)	1,378	42	309	74	69	27	65	141	333	135	7	15	32	16	113
昭和60年(1985)	1,515	37	303	79	78	38	88	159	370	142	15	19	53	3	131
昭和61年(1986)	1,440	39	323	61	75	43	68	135	336	152	9	22	54	6	117
昭和62年(1987)	1,424	34	278	77	75	35	76	161	341	142	15	20	38	11	121
昭和63年(1988)	1,456	39	283	111	61	30	86	166	352	148	6	20	40	11	103
平成元年(1989)	1,287	33	277	68	55	32	86	157	275	141	7	28	34	10	84
平成2年(1990)	1,317	39	252	85	75	46	98	131	247	154	9	31	40	7	103
平成3年(1991)	1,298	39	225	100	73	40	67	141	283	168	6	22	36	10	88
平成4年(1992)	1,436	53	242	100	66	36	100	173	289	178	13	42	30	6	108
平成5年(1993)	1,547	52	278	128	79	66	93	190	318	145	14	28	44	9	103
平成6年(1994)	1,594	62	289	116	90	47	105	191	324	156	27	25	46	5	111
平成7年(1995)	1,545	53	260	124	79	51	115	188	306	107	65	25	42	4	126
平成8年(1996)	1,553	56	211	103	72	56	130	208	309	107	87	31	47	8	128
平成9年(1997)	1,685	48	247	115	69	66	152	227	318	134	74	28	42	12	153
平成10年(1998)	1,806	63	285	129	72	73	139	257	311	151	75	32	54	7	158
平成11年(1999)	1,889	72	260	103	86	65	144	288	383	115	83	31	50	11	198
平成12年(2000)	1,902	71	262	123	64	60	181	273	340	141	80	30	65	13	199
平成13年(2001)	2,070	121	261	140	103	59	170	309	352	162	83	44	61	11	194
平成14年(2002)	2,219	120	274	152	114	63	213	335	347	149	112	47	66	11	216
平成15年(2003)	2,301	124	276	161	118	61	208	326	329	161	149	51	78	8	251
平成16年(2004)	2,400	138	307	161	115	65	224	316	334	185	149	58	56	7	285
平成17年(2005)	2,649	163	331	173	169	81	237	347	380	196	144	46	65	11	306
平成18年(2006)	2,777	166	367	190	171	68	194	365	430	205	178	67	64	15	297
平成19年(2007)	2,842	178	359	177	181	75	221	359	424	175	205	66	45	20	357
平成20年(2008)	2,681	151	360	167	158	55	177	306	431	200	197	56	38	14	371
平成21年(2009)	2,971	167	320	166	161	85	265	400	439	263	232	56	36	22	359
平成22年(2010)	3,043	180	350	192	167	98	227	417	460	245	226	54	33	12	382
平成23年(2011)	3,040	182	329	175	156	77	263	412	498	208	226	59	38	15	402
平成24年(2012)	3,077	215	356	179	184	63	269	366	515	232	192	50	28	9	419
平成25年(2013)	3,083	187	334	184	158	65	296	389	536	221	193	65	30	15	410
平成26年(2014)	3,026	203	284	183	161	70	280	462	523	204	179	55	10	7	405
平成27年(2015)	3,115	169	337	187	186	66	286	483	495	173	217	50	2	5	459
平成28年(2016)	3,450	212	379	211	153	61	332	534	569	181	235	51	67	11	454
平成29年(2017)	3,620	246	363	212	188	70	308	546	578	188	238	58	89	13	523
平成30年(2018)	3,660	241	337	248	189	85	316	566	550	219	234	60	88	16	511
令和元年(2019)	3,671	251	338	228	189	91	351	591	556	153	236	53	86	20	528
令和2年(2020)	3,403	219	256	226	176	92	294	518	532	154	242	49	79	15	551
令和3年(2021)	3,891	255	333	259	198	87	373	580	561	190	267	49	81	12	646
令和4年(2022)	3,462	249	305	268	172	76	330	443	559	163	263	53	65	18	498
令和5年(2023)	3,879	248	298	308	204	72	362	471	542	208	315	62	99	29	661
令和6年(2024)	3,827	254	263	292	223	66	390	463	509	202	321	58	85	27	674
合計	127,986	6,299	19,876	7,289	6,532	3,001	10,336	15,917	21,234	11,561	5,928	2,172	2,667	749	14,425

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964 - 2024 ※平成8年までは、ICD 9による集計

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33,C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器 のがん (C60~C68)	甲状腺 がん (C73)	悪性 リンパ腫 (C82,C84 C85,C96)	白血病 (C91~C95)	その他 のがん
昭和39年 (1964)	100.0	3.1	27.6	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年 (1965)	100.0	3.0	35.3	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	1.0	1.3	7.5
昭和41年 (1966)	100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	1.4	1.1	6.4
昭和42年 (1967)	100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	1.4	0.8	6.7
昭和43年 (1968)	100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.5	8.5	7.8	12.9	19.6	1.5	1.4	1.5	1.3	6.4
昭和44年 (1969)	100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.3	7.6	12.9	18.3	1.2	1.4	1.7	0.6	7.3
昭和45年 (1970)	100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	1.3	1.5	7.3
昭和46年 (1971)	100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	1.6	0.7	8.2
昭和47年 (1972)	100.0	2.8	25.8	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	18.0	1.2	1.1	1.7	1.0	6.9
昭和48年 (1973)	100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.8	8.8	12.7	18.9	0.8	1.7	2.1	0.9	8.6
昭和49年 (1974)	100.0	4.0	25.4	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.5	16.3	1.0	1.8	2.1	0.7	7.2
昭和50年 (1975)	100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	2.5	1.3	7.9
昭和51年 (1976)	100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	8.9	15.4	17.7	0.9	1.4	2.7	0.2	7.1
昭和52年 (1977)	100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	1.9	1.2	9.2
昭和53年 (1978)	100.0	3.8	24.8	3.1	5.4	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	1.6	0.6	10.4
昭和54年 (1979)	100.0	2.7	24.8	3.9	3.6	2.0	6.1	9.6	17.8	14.4	0.9	1.8	2.8	0.7	8.9
昭和55年 (1980)	100.0	3.5	24.2	4.0	5.2	1.7	4.9	9.8	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.0	7.6
昭和56年 (1981)	100.0	3.1	23.9	3.5	5.3	2.3	3.7	10.5	22.2	11.8	1.2	1.6	2.3	0.8	7.8
昭和57年 (1982)	100.0	2.6	22.0	3.7	5.2	2.0	5.1	11.4	23.6	12.7	0.7	1.1	2.2	1.0	6.7
昭和58年 (1983)	100.0	3.5	21.2	5.5	6.1	1.8	5.1	11.0	21.2	11.4	0.8	1.3	2.7	0.9	7.5
昭和59年 (1984)	100.0	3.0	22.4	5.4	5.0	2.0	4.7	10.2	24.2	9.8	0.5	1.1	2.3	1.2	8.2
昭和60年 (1985)	100.0	2.4	20.0	5.2	5.1	2.5	5.8	10.5	24.5	9.4	1.0	1.3	3.5	0.2	8.6
昭和61年 (1986)	100.0	2.7	22.4	4.2	5.2	3.0	4.7	9.4	23.4	10.6	0.6	1.5	3.8	0.4	8.1
昭和62年 (1987)	100.0	2.4	19.5	5.4	5.3	2.5	5.3	11.3	23.9	9.9	1.1	1.4	2.7	0.8	8.5
昭和63年 (1988)	100.0	2.7	19.4	7.6	4.2	2.1	5.9	11.4	24.1	10.2	0.4	1.4	2.7	0.8	7.1
平成元年 (1989)	100.0	2.6	21.5	5.3	4.3	2.5	6.7	12.2	21.3	11.0	0.5	2.2	2.6	0.8	6.5
平成2年 (1990)	100.0	3.0	19.1	6.5	5.7	3.5	7.4	9.9	18.8	11.7	0.7	2.4	3.0	0.5	7.8
平成3年 (1991)	100.0	3.0	17.3	7.7	5.6	3.1	5.2	10.8	21.8	12.9	0.5	1.7	2.8	0.8	6.8
平成4年 (1992)	100.0	3.7	16.9	7.0	4.6	2.5	7.0	12.0	20.1	12.4	0.9	2.9	2.1	0.4	7.5
平成5年 (1993)	100.0	3.4	18.0	8.3	5.1	4.3	6.0	12.3	20.5	9.3	0.9	1.8	2.8	0.6	6.7
平成6年 (1994)	100.0	3.9	18.1	7.3	5.6	2.9	6.6	12.0	20.3	9.8	1.7	1.6	2.9	0.3	7.0
平成7年 (1995)	100.0	3.4	16.8	8.0	5.1	3.3	7.4	12.2	19.9	6.9	4.2	1.6	2.7	0.3	8.2
平成8年 (1996)	100.0	3.6	13.6	6.6	4.6	3.6	8.4	13.4	19.9	6.9	5.6	2.0	3.0	0.5	8.3
平成9年 (1997)	100.0	2.8	14.7	6.8	4.1	3.9	9.0	13.5	18.8	8.0	4.4	1.7	2.5	0.7	9.1
平成10年 (1998)	100.0	3.5	15.8	7.1	4.0	4.0	7.7	14.2	17.2	8.4	4.2	1.8	3.0	0.4	8.7
平成11年 (1999)	100.0	3.8	13.8	5.5	4.6	3.4	7.6	15.2	20.3	6.1	4.4	1.6	2.6	0.6	10.5
平成12年 (2000)	100.0	3.7	13.7	6.5	3.4	3.2	9.5	14.4	17.8	7.4	4.2	1.6	3.4	0.7	10.5
平成13年 (2001)	100.0	5.8	12.6	6.8	5.0	2.9	8.2	15.0	17.1	7.8	4.0	2.1	2.9	0.5	9.3
平成14年 (2002)	100.0	5.4	12.4	6.9	5.1	2.8	9.6	15.1	15.7	6.7	5.0	2.1	3.0	0.5	9.7
平成15年 (2003)	100.0	5.4	12.0	7.0	5.1	2.7	9.1	14.2	14.3	7.0	6.4	2.2	3.4	0.3	10.9
平成16年 (2004)	100.0	5.8	12.8	6.7	4.8	2.7	9.3	13.2	13.9	7.7	6.2	2.4	2.3	0.3	11.9
平成17年 (2005)	100.0	6.2	12.5	6.5	6.4	3.1	8.9	13.1	14.3	7.4	5.4	1.7	2.5	0.4	11.6
平成18年 (2006)	100.0	6.0	13.2	6.8	6.2	2.4	7.0	13.2	15.5	7.4	6.4	2.4	2.3	0.5	10.7
平成19年 (2007)	100.0	6.3	12.6	6.2	6.4	2.6	7.8	12.6	14.9	6.2	7.2	2.3	1.6	0.7	12.6
平成20年 (2008)	100.0	5.6	13.5	6.2	5.9	2.1	6.6	11.4	16.1	7.5	7.3	2.1	1.4	0.5	13.8
平成21年 (2009)	100.0	5.6	10.8	5.6	5.4	2.9	8.9	13.5	14.8	8.9	7.8	1.9	1.2	0.7	12.0
平成22年 (2010)	100.0	5.9	11.5	6.3	5.5	3.2	7.5	13.7	15.1	8.1	7.4	1.8	1.1	0.4	12.5
平成23年 (2011)	100.0	6.0	10.8	5.8	5.1	2.5	8.7	13.6	16.4	6.8	7.4	1.9	1.3	0.5	13.2
平成24年 (2012)	100.0	7.0	11.6	5.8	6.0	2.0	8.8	11.9	16.7	7.6	6.2	1.6	0.9	0.3	13.6
平成25年 (2013)	100.0	6.1	10.8	6.0	5.2	2.1	9.6	12.6	17.3	7.2	6.3	2.1	0.9	0.5	13.3
平成26年 (2014)	100.0	6.7	9.4	6.0	5.3	2.3	9.3	15.3	17.3	6.8	5.9	1.8	0.3	0.2	13.4
平成27年 (2015)	100.0	5.4	10.8	6.0	6.0	2.1	9.1	15.5	15.9	5.6	7.0	1.6	0.1	0.2	14.7
平成28年 (2016)	100.0	6.1	11.0	6.1	4.4	1.8	9.7	15.5	16.5	5.2	6.8	1.5	1.9	0.3	13.2
平成29年 (2017)	100.0	6.8	10.0	5.9	5.2	1.9	8.5	15.1	15.9	5.2	6.6	1.6	2.5	0.4	14.4
平成30年 (2018)	100.0	6.6	9.2	6.8	5.2	2.3	8.6	15.5	15.0	6.0	6.4	1.6	2.4	0.4	14.0
令和元年 (2019)	100.0	6.8	9.3	6.2	5.1	2.5	9.6	16.1	15.2	4.2	6.4	1.4	2.3	0.5	14.4
令和2年 (2020)	100.0	6.4	7.6	6.6	5.2	2.7	8.6	15.3	15.7	4.5	7.1	1.4	2.3	0.4	16.2
令和3年 (2021)	100.0	6.6	8.5	6.7	5.1	2.2	9.5	14.9	14.4	4.9	6.9	1.3	2.1	0.3	16.6
令和4年 (2022)	100.0	7.2	8.8	7.7	5.0	2.2	9.5	12.8	16.2	4.7	7.6	1.5	1.9	0.5	14.4
令和5年 (2023)	100.0	6.4	7.7	7.9	5.3	1.9	9.3	12.1	14.0	5.4	8.1	1.6	2.6	0.7	17.0
令和6年 (2024)	100.0	6.6	6.9	7.6	5.8	1.7	10.2	12.1	13.4	5.3	8.4	1.5	2.2	0.7	17.6
合計	100.0	4.9	15.6	5.7	5.1	2.3	8.1	12.4	16.6	9.0	4.6	1.7	2.1	0.6	11.3

登録（診断）年次別がん患者の生存数（男女計） 1964 - 2023

※ 2026年3月1日時点で把握している情報をもとに作成しています。

2014年以降のものにつきましては、現在も調査中です。あらかじめご了承ください。

登録（診断）年	症例数	経過年数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年(1965)	1,437	800	637	572	541	508	414
昭和41年(1966)	1,606	963	764	673	640	613	507
昭和42年(1967)	1,525	914	708	619	576	551	444
昭和43年(1968)	1,485	939	746	661	617	582	472
昭和44年(1969)	1,572	981	789	698	631	594	503
昭和45年(1970)	1,566	1,016	802	723	670	628	535
昭和46年(1971)	1,639	1,049	850	768	701	642	536
昭和47年(1972)	1,659	1,103	907	820	753	713	593
昭和48年(1973)	1,494	1,007	841	745	704	664	558
昭和49年(1974)	1,366	948	771	686	640	599	500
昭和50年(1975)	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年(1976)	1,330	926	759	677	640	605	506
昭和52年(1977)	1,286	906	736	677	630	599	521
昭和53年(1978)	1,400	985	816	746	692	655	553
昭和54年(1979)	1,370	994	828	754	706	674	580
昭和55年(1980)	1,386	1,011	846	779	724	688	589
昭和56年(1981)	1,371	1,021	861	779	741	696	588
昭和57年(1982)	1,353	999	858	774	736	707	572
昭和58年(1983)	1,420	1,058	890	806	741	707	600
昭和59年(1984)	1,378	1,046	883	802	753	721	614
昭和60年(1985)	1,515	1,198	1,024	923	858	828	711
昭和61年(1986)	1,440	1,124	974	883	835	795	667
昭和62年(1987)	1,424	1,127	969	881	805	767	650
昭和63年(1988)	1,456	1,163	1,013	924	876	849	738
平成元年(1989)	1,287	1,008	883	819	784	757	642
平成2年(1990)	1,317	1,072	925	867	824	788	685
平成3年(1991)	1,298	1,080	943	873	826	786	685
平成4年(1992)	1,436	1,169	1,009	935	893	858	735
平成5年(1993)	1,547	1,253	1,086	985	938	899	764
平成6年(1994)	1,594	1,306	1,161	1,074	1,006	967	829
平成7年(1995)	1,545	1,259	1,095	992	932	901	760
平成8年(1996)	1,553	1,283	1,123	1,010	967	913	778
平成9年(1997)	1,685	1,408	1,213	1,102	1,038	995	846
平成10年(1998)	1,806	1,468	1,287	1,176	1,109	1,054	890
平成11年(1999)	1,889	1,538	1,325	1,220	1,149	1,103	943
平成12年(2000)	1,902	1,577	1,369	1,266	1,187	1,121	951
平成13年(2001)	2,070	1,677	1,486	1,366	1,273	1,208	1,003
平成14年(2002)	2,219	1,824	1,577	1,414	1,319	1,257	1,056
平成15年(2003)	2,301	1,913	1,669	1,541	1,441	1,367	1,161
平成16年(2004)	2,400	2,030	1,739	1,591	1,507	1,436	1,238
平成17年(2005)	2,649	2,246	1,955	1,785	1,682	1,621	1,394
平成18年(2006)	2,777	2,373	2,095	1,950	1,844	1,784	1,544
平成19年(2007)	2,842	2,426	2,165	2,014	1,910	1,829	1,579
平成20年(2008)	2,681	2,344	2,129	1,983	1,858	1,775	1,548
平成21年(2009)	2,971	2,534	2,250	2,076	1,971	1,889	1,638
平成22年(2010)	3,043	2,623	2,312	2,126	2,005	1,934	1,664
平成23年(2011)	3,040	2,630	2,330	2,168	2,062	1,958	1,684
平成24年(2012)	3,077	2,662	2,355	2,166	2,043	1,970	1,747
平成25年(2013)	3,083	2,616	2,315	2,156	2,056	1,982	1,695
平成26年(2014)	3,026	2,603	2,319	2,158	2,055	1,974	1,784
平成27年(2015)	3,115	2,657	2,361	2,199	2,075	1,990	1,817
平成28年(2016)	3,450	2,940	2,579	2,368	2,233	2,142	
平成29年(2017)	3,620	3,112	2,763	2,568	2,415	2,313	
平成30年(2018)	3,660	3,173	2,819	2,613	2,514	2,457	
令和元年(2019)	3,671	3,196	2,817	2,618	2,528	2,463	
令和2年(2020)	3,403	2,871	2,596	2,454	2,388	2,339	
令和3年(2021)	3,891	3,460	3,234	3,087	2,995		
令和4年(2022)	3,462	3,114	2,916	2,812			
令和5年(2023)	3,879	3,467	3,205				

登録（診断）年次別がん患者の実測生存率（%）（男女計） 1964 - 2023

※ 2026年3月1日時点で把握している情報をもとに作成しています。

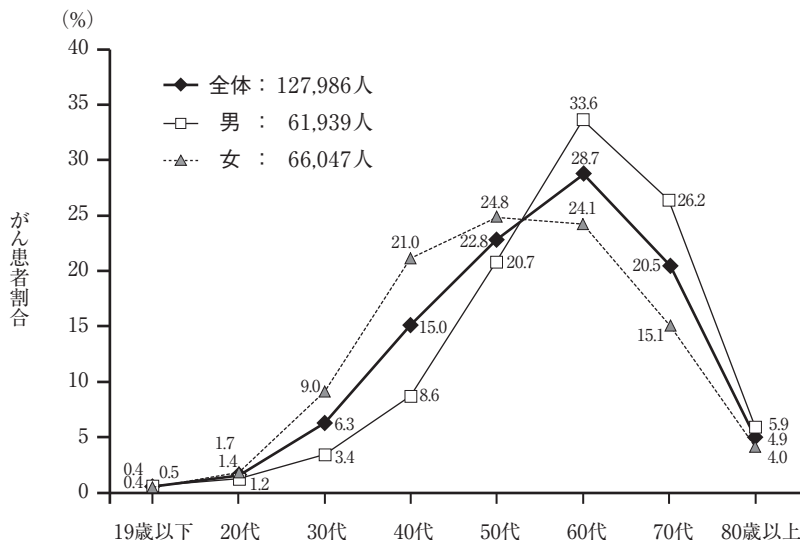
2014年以降のものにつきましては、現在も調査中です。あらかじめご了承ください。

登録（診断）年	経過年数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年（1964）	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年（1965）	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年（1966）	60.0	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年（1967）	59.9	46.4	40.6	37.8	36.1	29.1
昭和43年（1968）	63.2	50.2	44.5	41.5	39.2	31.8
昭和44年（1969）	62.4	50.2	44.4	40.1	37.8	32.0
昭和45年（1970）	64.9	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年（1971）	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.7
昭和47年（1972）	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年（1973）	67.4	56.3	49.9	47.1	44.4	37.3
昭和49年（1974）	69.4	56.4	50.2	46.9	43.9	36.6
昭和50年（1975）	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年（1976）	69.6	57.1	50.9	48.1	45.5	38.0
昭和52年（1977）	70.5	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年（1978）	70.4	58.3	53.3	49.4	46.8	39.5
昭和54年（1979）	72.6	60.4	55.0	51.5	49.2	42.3
昭和55年（1980）	72.9	61.0	56.2	52.2	49.6	42.5
昭和56年（1981）	74.5	62.8	56.8	54.0	50.8	42.9
昭和57年（1982）	73.8	63.4	57.2	54.4	52.3	42.3
昭和58年（1983）	74.5	62.7	56.8	52.2	49.8	42.3
昭和59年（1984）	75.9	64.1	58.2	54.6	52.3	44.6
昭和60年（1985）	79.1	67.6	60.9	56.6	54.7	46.9
昭和61年（1986）	78.1	67.6	61.3	58.0	55.2	46.3
昭和62年（1987）	79.1	68.0	61.9	56.5	53.9	45.6
昭和63年（1988）	79.9	69.6	63.5	60.2	58.3	50.7
平成元年（1989）	78.3	68.6	63.6	60.9	58.8	49.9
平成2年（1990）	81.4	70.2	65.8	62.6	59.8	52.0
平成3年（1991）	83.2	72.7	67.3	63.6	60.6	52.8
平成4年（1992）	81.4	70.3	65.1	62.2	59.7	51.2
平成5年（1993）	81.0	70.2	63.7	60.6	58.1	49.4
平成6年（1994）	81.9	72.8	67.4	63.1	60.7	52.0
平成7年（1995）	81.5	70.9	64.2	60.3	58.3	49.2
平成8年（1996）	82.6	72.3	65.0	62.3	58.8	50.1
平成9年（1997）	83.6	72.0	65.4	61.6	59.1	50.2
平成10年（1998）	81.3	71.3	65.1	61.4	58.4	49.3
平成11年（1999）	81.4	70.1	64.6	60.8	58.4	49.9
平成12年（2000）	82.9	72.0	66.6	62.4	58.9	50.0
平成13年（2001）	81.0	71.8	66.0	61.5	58.4	48.5
平成14年（2002）	82.2	71.1	63.7	59.4	56.6	47.6
平成15年（2003）	83.1	72.5	67.0	62.6	59.4	50.5
平成16年（2004）	84.6	72.5	66.3	62.8	59.8	51.6
平成17年（2005）	84.8	73.8	67.4	63.5	61.2	52.6
平成18年（2006）	85.5	75.4	70.2	66.4	64.2	55.6
平成19年（2007）	85.4	76.2	70.9	67.2	64.4	55.6
平成20年（2008）	87.4	79.4	74.0	69.3	66.2	57.7
平成21年（2009）	85.3	75.7	69.9	66.3	63.6	55.1
平成22年（2010）	86.2	76.0	69.9	65.9	63.6	54.7
平成23年（2011）	86.5	76.6	71.3	67.8	64.4	55.4
平成24年（2012）	86.5	76.5	70.4	66.4	64.0	56.8
平成25年（2013）	84.9	75.1	69.9	66.7	64.3	55.0
平成26年（2014）	86.0	76.6	71.3	67.9	65.2	59.0
平成27年（2015）	85.3	75.8	70.6	66.6	63.9	58.3
平成28年（2016）	85.2	74.8	68.6	64.7	62.1	
平成29年（2017）	86.0	76.3	70.9	66.7	63.9	
平成30年（2018）	86.7	77.0	71.4	68.7	67.1	
令和元年（2019）	87.1	76.7	71.3	68.9	67.1	
令和2年（2020）	84.4	76.3	72.1	70.2	68.7	
令和3年（2021）	88.9	83.1	79.3	77.0		
令和4年（2022）	89.9	84.2	81.2			
令和5年（2023）	89.4	82.6				

①がん患者 年齢構成図

(昭和39年1月～令和6年12月)

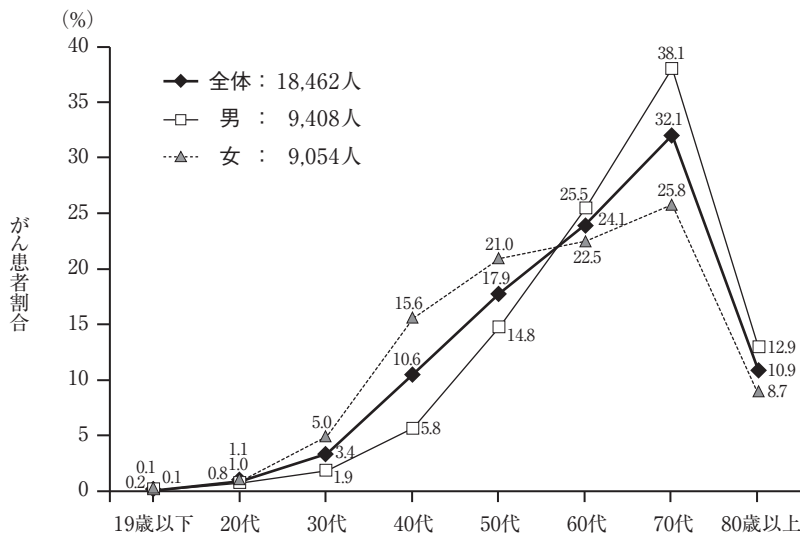
		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	317	724	2,085	5,327	12,797	20,791	16,248	3,650	61,939
	%	0.5%	1.2%	3.4%	8.6%	20.7%	33.6%	26.2%	5.9%	100.0%
女	患者数	246	1,130	5,960	13,877	16,350	15,921	9,941	2,622	66,047
	%	0.4%	1.7%	9.0%	21.0%	24.8%	24.1%	15.1%	4.0%	100.0%
計	患者数	563	1,854	8,045	19,204	29,147	36,712	26,189	6,272	127,986
	%	0.4%	1.4%	6.3%	15.0%	22.8%	28.7%	20.5%	4.9%	100.0%



②がん患者 年齢構成図

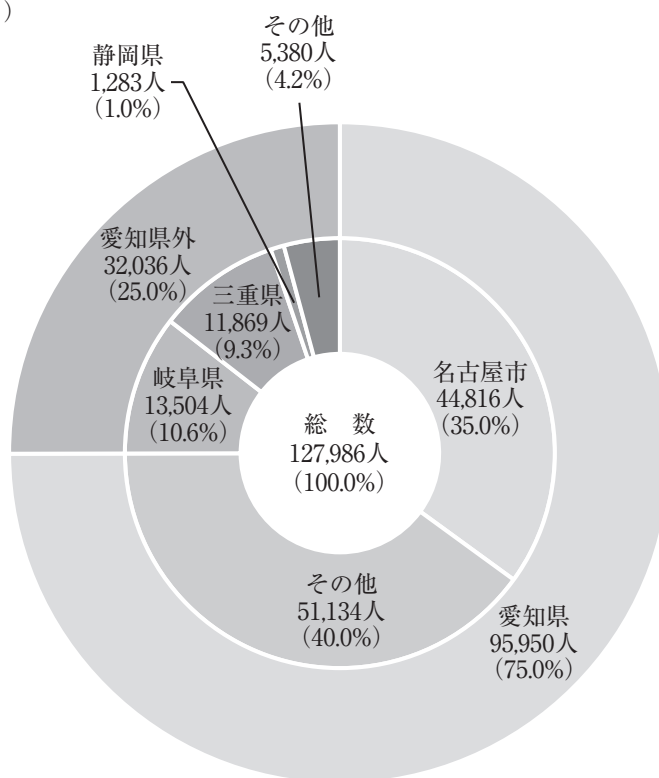
(令和2年1月～令和6年12月)

		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	12	77	182	541	1,395	2,402	3,582	1,217	9,408
	%	0.1%	0.8%	1.9%	5.8%	14.8%	25.5%	38.1%	12.9%	100.0%
女	患者数	14	102	453	1,415	1,901	2,040	2,339	790	9,054
	%	0.2%	1.1%	5.0%	15.6%	21.0%	22.5%	25.8%	8.7%	100.0%
計	患者数	26	179	635	1,956	3,296	4,442	5,921	2,007	18,462
	%	0.1%	1.0%	3.4%	10.6%	17.9%	24.1%	32.1%	10.9%	100.0%



①がん患者 県別分布数

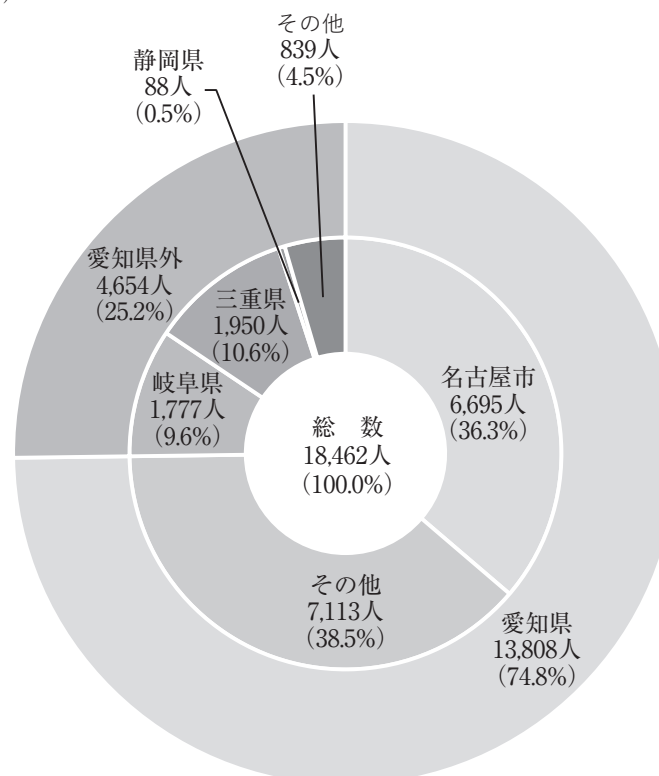
(昭和39年1月～令和6年12月)



※小数点第二位を四捨五入

②がん患者 県別分布数

(令和2年1月～令和6年12月)



※小数点第二位を四捨五入

レジデント履修状況

区 分	総 数	消化器 内科コース	呼吸器 内科コース	腫瘍内科・ 血液内科 コース	頭頸部 外科コース	呼吸器外科・ 乳腺科コース	消化器 外科コース	泌尿器・婦人科・ 整形外科・ 形成外科コース	放射線診断・ 放射線IVR コース	放射線 治療コース	遺伝子 病理診断 コース	麻酔科 コース	感染症内 科コース
昭和61年度～ 令和4年度	1,460	149	76	119	134	218	201	77	117	319	44	4	2
令和5年度	40	4	0	4	5	6	7	5	3	2	1	1	2
令和6年度	39	5	0	3	6	7	7	5	3	2	0	1	0
令和7年度	45	6	0	3	7	10	7	6	3	2	0	1	0
総 数	1,584	164	76	129	152	241	222	93	126	325	45	7	4

(注) 呼吸器外科・乳腺科コースは、平成22年度までは胸部外科・乳腺科コース

リサーチレジデント履修状況

区 分	総 数	がん情報・ 対策研究 コース	がん予防 研究 コース	分子遺伝学 コース	がん病態 生理学 コース	分子腫瘍学 コース	システム 解析学 コース	腫瘍制御学 コース	腫瘍免疫 応答研究 コース	腫瘍免疫 制御TR コース	分子診断 TRコース	がん標的 治療TR コース	個別化医 療TR コース	臨床研究 基礎コース	異分野融合 研究開発 コース	先端イノベ ーション研究 開発コース
平成13年度～ 令和4年度	209	21	27	0	22	31	2	21	23	33	3	19	0	7	—	—
令和5年度	12	1	2	0	0	1	2	0	0	2	2	2	0	—	—	—
令和6年度	13	1	2	0	1	1	2	1	0	2	2	1	0	—	—	—
令和7年度	12	1	2	0	1	1	1	1	2	0	0	2	0	—	1	0
総 数	246	24	33	0	24	34	7	23	25	37	7	24	0	7	1	0

(注) がん情報・対策研究コースは、平成29年度までは疫学・予防学コース
 がん予防研究コースは、平成29年度までは遺伝子医療研究コース
 がん病態生理学コースは、平成29年度までは分子病態学コース
 腫瘍制御学コースは、平成29年度までは感染腫瘍学コース
 腫瘍免疫応答研究コースは、平成29年度までは腫瘍免疫学コース
 腫瘍免疫制御TRコースは、平成29年度までは腫瘍医化学コース
 がん標的治療TRコースは、平成29年度までは腫瘍病理学コース

医療技術者研修受入れ状況

区 分	総 数	昭和41年度～ 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総 数	6,274	5,856	70	97	89	92	70
医 師	3,944	3,671	42	55	63	66	47
診 療 放 射 線 技 師	257	235	4	7	4	4	3
臨 床 (衛 生) 検 査 技 師	623	616	1	1	1	3	1
看 護 師	328	321	1	3	1	1	1
そ の 他	1,122	1,013	22	31	20	18	18

図書蔵書状況

年度	種類	計	単 行 本		製 本 雑 誌	
			洋	和	洋	和
受 入 数	昭和40年度～令和4年度	78,566	12,202	24,429	28,425	13,510
	令和5年度	501	29	365	0	107
	令和6年度	676	20	621	0	35
	令和7年度	520	56	439	0	25
除 籍 累 計		24,799	4,258	8,368	10,337	1,836
総 数		55,464	8,049	17,486	18,088	11,841

主な備品・設備

備 品 (令和8年4月1日現在)

(3,000万円以上)

品 名	取得年度	型 式	数量	設置場所
FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム	平成24年度	Ultimax-i 東芝	1	内視鏡部
上部消化管内視鏡手術総合システム	平成25年度	EVIS LUCERA ELITE オリンパス	1	内視鏡部
心電図自動解析装置	平成3年度	FCP-800 フクダ電子	1	血液・細胞療法部
全自動血液検査システム	平成27年度	XN-3000+DI-60 シスメックス	1	臨床検査部
微生物検査システム	令和7年度	BACT SYSTEM 栄研化学	1	病理診断部
診断用X線装置	※ 昭和61年度	KXO850 東芝	1	放射線診断・IVR部
多目的デジタルX線TVシステム	令和7年度	VersiFlex VISTA 富士フィルムメディカル	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	平成22年度	FUJIFILM DR BENE0 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成22年度	CUREVISTA 日立メディコ	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	令和7年度	Aquilion ONE/INSIGHT キヤノンメディカルシステムズ	1	放射線診断・IVR部
2検出器可変型ガンマカメラシステム	平成24年度	Infinia3 Hawkeye4 GE	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成25年度	AMULET Innovality 富士	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	平成27年度	Infinix Celeve-I INFx-8000C・Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成29年度	Aquilion PRIME キヤンメ [®] イカルシステム [®]	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成29年度	EXAVISTA 日立製作所	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成30年度	SIGNA Architect3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線診断装置	令和元年度	BENEO-Fx・CALNEO Smart C77 富士フィルム	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	令和2年度	Aquilion ONE PRISM Edition キヤンメ [®] イカルシステム [®]	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	令和3年度	Aquilion ONE/Alphenix キヤンメ [®] イカルシステム [®]	1	放射線診断・IVR部
一般X線撮影システム	令和3年度	Beneo Fx/CALNEO-SmartC77 富士フィルムメディカル	1	放射線診断・IVR部
乳腺バイオプシー専用システム	令和4年度	Affirm Prone Biopsy System ホロジックジャパン	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	令和5年度	SIGNA Architect3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
放射線治療位置決め装置	平成19年度	LX-40A 東芝	1	放射線治療部
全身用エックス線コンピュータ断層撮影装置	平成26年度	Aquilion LB・TSX-201A 東芝	1	放射線治療部
遠隔操作式腔内治療装置	平成26年度	マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトロン	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成28年度	Truebeam バリアン	1	放射線治療部
放射線治療情報システム	令和元年度	MOSAIQ OIS エレクタ	1	放射線治療部
医療用リニアック	令和元年度	Radixact X9 Accuray	1	放射線治療部
医療用リニアック	令和6年度	OXRAY 日立ハイテック	1	放射線治療部
集中患者監視システム	平成3年度	CBN-3000CN特型 コーリン電子	1	手術室
手術室内ITVシステム	※ 平成3年度	特型 ソニー	1	手術室
顕微鏡下炭酸ガスレーザーシステム	令和7年度	TIVATO700 カールツァイス SmartXIDE TOUCH DEKA	1	手術室
ロボット支援手術用システム	平成27年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
術中ナビゲーションシステム	平成29年度	StealthStationS7 日本メドトロニック	1	手術室
手術用顕微鏡システム	平成29年度	KINEVO900 カールツァイス	1	手術室
手術用顕微鏡	令和3年度	Arveo ライカマイクロシステムズ	1	手術室
ロボット支援手術用システム	令和6年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
注射薬自動払出システム	令和2年度	UNIPUL-5000 トーショー	1	薬剤部
自動カート洗浄装置	※ 平成3年度	CWR-2500W サクラ精機	1	中材事務室
カルテ保管庫	※ 平成5年度	カルテ管理システム 日本ファイリング	1	診療録管理室
医用画像管理システム	令和4年度	SYNAPSE Ver.5.5.0 富士フィルムメディカル	1	サーバー室
動物飼育設備	平成11年度	ダイダ	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成18年度	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1	研究所
放射線管理総合システム	平成21年度	MSR3000 アロカ	1	研究所
高速自動セルソーター	平成25年度	FACS AriaIII 日本ベクトンデッキンソン	1	研究所
次世代DNAシーケンサー	平成26年度	NextSeq500システム イルミナ	1	研究所
動物用コンピューター断層撮影装置	平成29年度	CosmoScan GX II リガク	1	研究所
中央実験台等	※ 平成11年度	イトーキ	1	研究所

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

附属設備 (令和8年4月1日現在)

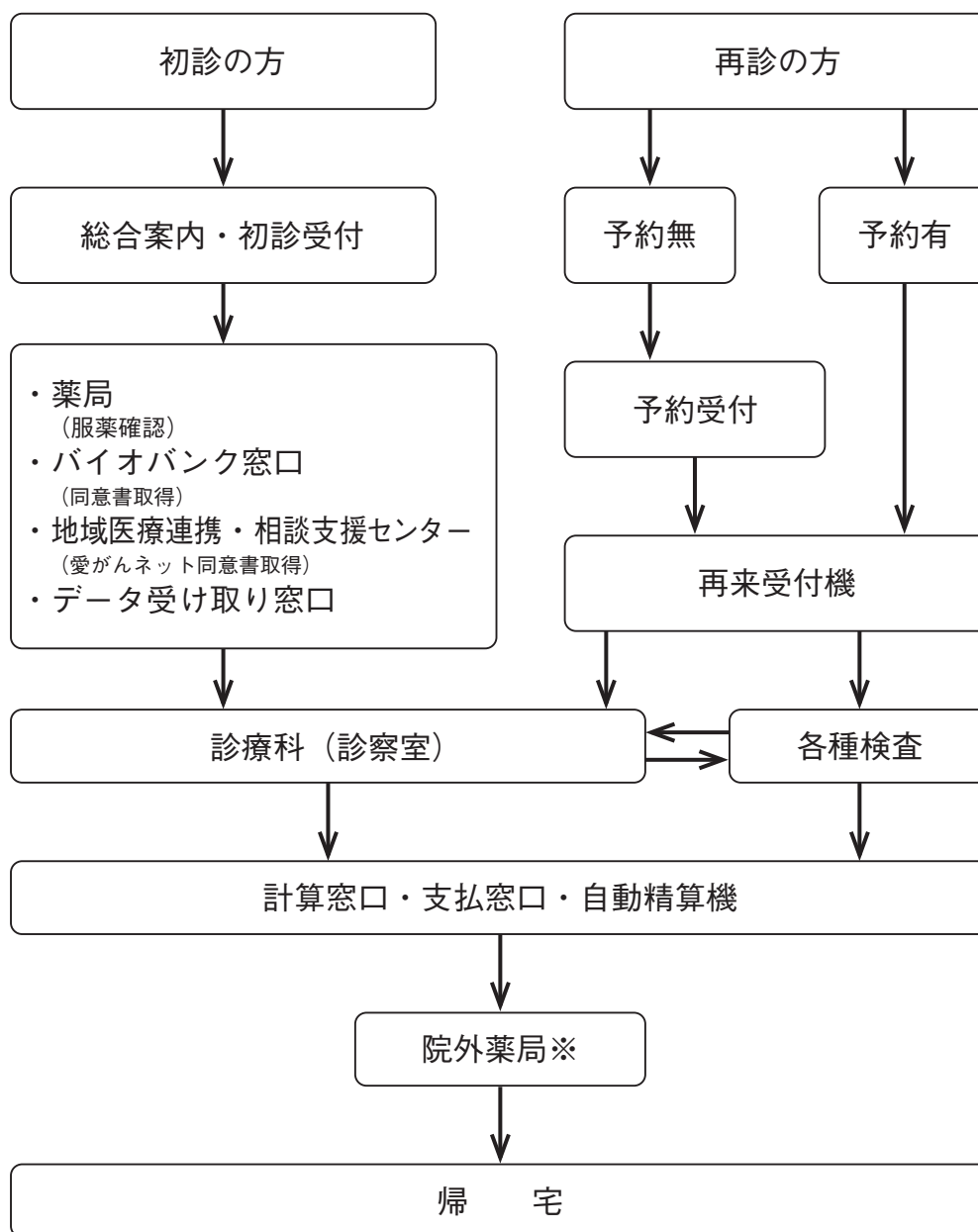
設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量
空気換気設備	冷 凍 機	4	電気設備	特 高 受 電 用 変 圧 器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒートポンプチャラー	1		高 圧 配 電 用 変 圧 器	54		真空ポンプ(吸引用)	4
	ボ イ ラ ー	2		非 常 用 発 電 機	3		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫 流 ボ イ ラ ー	3		常 用 発 電 機 (コージェネ)	1		純正空気用混合器	1
	冷 温 水 発 生 器	5		常 用 発 電 機 (小水力)	1			
	空 調 機	109		電 話 交 換 機	1			
	送 排 風 機	322	昇 降 機	19				

病院業務 (令和8年4月1日現在)

診療科目 消化器内科、内視鏡内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、婦人科、脳神経外科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、眼科、皮膚科、循環器内科、感染症内科、歯科、緩和ケア内科、腫瘍精神科 計 27診療科

病床数 500床

外来診療の流れ



※薬剤により院内薬局にて処方する場合があります。

外来患者状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
診 療 日 数	242	243	243	243	242
新 来 患 者 数	4,902	5,036	5,013	5,056	5,330
患 者 延 数	143,944	143,148	142,818	139,916	140,045
1 日 平 均 患 者 数	594.8	589.1	587.7	575.8	578.7
平 均 通 院 回 数	29.4	28.4	28.5	27.7	26.3
紹 介 患 者 比 率	99.1	99.2	99.1	99.6	99.6
外 来 化 学 療 法 件 数	29,018	27,939	27,859	27,023	27,864

入院患者状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
患 者 総 数	総 数	10,004	9,471	10,408	11,513	11,775
	繰 越	316	312	269	289	342
	新入院	9,688	9,159	10,139	11,224	11,433
退 院 患 者 数	総 数	9,692	9,202	10,119	11,171	11,437
	死 亡	251	231	253	323	315
	その他	9,441	8,971	9,866	10,848	11,122
患 者 延 数		118,174	109,389	121,854	131,488	132,535
1 日 平 均 患 者 数		323.8	299.7	332.9	360.2	363.1
平 均 在 院 日 数		11.2	10.9	11.0	10.7	10.6
稼 働 病 床 利 用 率		68.4	63.4	70.4	76.2	84.8
病 床 回 転 率		29.9	30.6	30.4	31.1	28.5
死 亡 率		2.6	2.5	2.5	2.9	2.8

住所地別患者数

区 分	住 所 地	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 新 来 患 者 数	愛 知 県	4,015	79.7%	4,028	80.4%	4,113	81.3%	4,482	84.1%
	名古屋市	2,279	45.3%	2,281	45.5%	2,362	46.7%	2,650	49.7%
	その他	1,735	34.5%	1,747	34.8%	1,751	34.6%	1,832	34.4%
	県 外	1,021	20.3%	985	19.6%	943	18.7%	848	15.9%
	総 数	5,036	100.0%	5,013	100.0%	5,056	100.0%	5,330	100.0%
新 入 院 患 者 数	愛 知 県	6,945	75.8%	7,737	76.3%	8,632	76.9%	9,118	79.8%
	名古屋市	3,421	37.4%	3,917	38.6%	4,405	39.2%	4,697	41.1%
	その他	3,524	38.5%	3,820	37.7%	4,227	37.7%	4,421	38.7%
	県 外	2,214	24.2%	2,402	23.7%	2,592	23.1%	2,315	20.2%
	総 数	9,159	100.0%	10,139	100.0%	11,224	100.0%	11,433	100.0%

患者給食実施状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入院患者延数		118,174	109,389	121,854	131,488	132,535
給食数 (配膳延食数)	総数	244,050	222,887	249,814	267,539	265,095
	一般食	170,808	154,615	175,911	186,422	190,534
	特別食	73,242	68,272	73,903	81,117	74,561

放射線照射回数（診断—直接撮影件数）

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総数		50,267	49,502	48,925	49,703	50,289
単純撮影		43,593	43,084	42,416	42,761	43,034
造影撮影		4,990	4,693	4,558	4,900	5,236
特殊撮影		1,684	1,725	1,951	2,042	2,019

アイソトープ検査件数

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総数		694	750	722	773	835
シンチスキャン		380	357	334	374	394
センチネルリンパ		276	347	353	375	399
動態計測		38	46	35	24	42

(注) センチネルリンパ節の検査は平成17年度より始めた。

コンピュータ断層撮影およびMRI検査件数

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総数		27,452	27,304	28,983	31,197	33,209
C	T	22,268	22,156	24,135	25,530	27,369
M	R I	5,184	5,148	4,848	5,667	5,840

超音波断層撮影件数

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総数		3,146	3,127	2,986	2,971	2,758
部 位 別	甲状腺	240	161	159	300	508
	乳 腺	813	907	870	842	276
	腹 部	1,567	1,544	1,461	1,311	794
	その他	526	515	496	518	1,180

(注) 放射線診断部・I V R部 超音波検査室における超音波検査件数。

放射線照射回数（治療）

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総 数		45,013	42,682	42,895	33,665	33,242
放射線治療計画策定件数		1,289	1,243	1,332	1,242	1,250
放射性物質	R A L S	64	74	81	66	76
	小 線 源	7	7	10	13	19
そ の 他	リニアック	42,441	40,158	40,188	31,015	30,558
	C T	1,212	1,200	1,284	1,329	1,339
	シミュレーター	0	0	0	0	0

一般臨床検査件数

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総 数		3,642,919	3,594,716	3,748,978	3,870,798	3,951,878
尿 検 査		30,189	30,879	31,708	31,425	33,119
糞 便 検 査		238	196	219	197	254
血液学的検査		1,079,160	1,053,842	1,102,726	1,137,168	1,157,311
生化学的検査		1,933,438	1,889,930	1,984,793	2,060,903	2,101,473
細菌学的検査 （監視培養検査）		28,031 (1,493)	26,790 (1,256)	27,428 (1,495)	28,436 (1,574)	29,903 (1,522)
血清学的検査		276,377	298,457	299,739	307,099	315,002
病理組織検査		9,401	9,603	9,356	9,518	10,077
癌遺伝子検査		3,100	3,014	3,140	3,090	2,797
細胞学的検査		5,449	5,533	5,401	5,350	5,342
血液ガス検査		2,766	3,408	3,686	4,073	4,192
その他	採血業務	272,098	270,448	277,328	280,881	289,820
	治験処理等	2,672	2,616	3,454	2,658	2,588

(注) () 内は内数。

機能検査件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総 数	24,271	23,872	22,115	22,165	23,439
心 電 図 検 査	5,287	5,384	5,836	5,572	6,333
負 荷 心 電 図 検 査	2,216	2,261	2,174	2,392	2,654
ト レ ッ ド ミ ル 検 査	612	689	535	347	189
ホ ル タ ー 心 電 図 検 査	60	37	47	31	28
心 臓 超 音 波 検 査	3,406	3,311	3,229	3,268	3,559
肺 機 能 検 査	11,643	11,099	9,230	9,548	9,710
ピ ロ リ 菌 呼 気 試 験	82	54	63	46	44
聴 力 検 査	137	127	131	119	128
乳 腺 超 音 波 検 査	828	910	870	842	794

部門別検査件数（県立病院統一件数）

区 分	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	3,804,385	3,753,397	50,988	3,927,344	3,879,742	47,602	4,008,205	3,961,159	47,046
一般検査	184,488	184,402	86	185,640	185,576	64	192,188	192,138	50
血液検査	757,832	756,817	1,015	783,499	782,486	1,013	797,838	796,681	1,157
免疫血清検査	210,539	200,480	10,059	221,514	210,656	10,858	235,094	225,012	10,082
生化学検査	2,170,896	2,133,400	37,496	2,255,634	2,221,915	33,719	2,300,749	2,266,740	34,009
微生物検査	61,098	58,829	2,269	62,240	60,338	1,902	58,137	56,433	1,704
病理細胞診検査	116,386	116,386	0	112,940	112,940	0	108,110	108,110	0
生理検査	22,115	22,052	63	22,165	22,119	46	23,439	23,395	44
その他の検査	281,031	281,031	0	283,712	283,712	0	292,650	292,650	0

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

内視鏡検査件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総 数	10,716	10,923	10,843	11,458	11,186
上 部 消 化 管	6,003	6,210	6,144	6,330	6,384
下 部 消 化 管	2,016	1,938	1,936	2,144	1,885
気 管 支	178	205	167	176	171
膵胆管造影(ERCP)	627	571	512	612	579
超音波内視鏡(EUS)	1,100	1,136	1,211	1,300	1,346
超音波内視鏡下穿刺生検 (EUS-FNA)	507	491	522	562	551
そ の 他 検 査	285	372	351	334	270

内視鏡治療件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総 数	1,449	1,562	1,488	1,727	2,073
食 道 E M R	14	21	9	11	9
胃 E M R	0	0	0	0	0
大腸EMR、ポリペク	452	474	431	468	770
食 道 E S D	72	74	60	89	90
胃 E S D	89	122	85	92	84
大 腸 E S D	56	51	55	79	66
食道狭窄拡張術	119	139	149	220	198
胆道ステント留置術	500	507	558	611	749
乳頭切開術、胆道碎石術	147	174	141	157	107

手術件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総 数	3,203	3,235	3,384	3,443	3,640
頭 頸 部 外 科	405	479	511	520	480
呼 吸 器 外 科	391	344	369	407	386
乳 腺 科	452	440	469	449	522
消 化 器 外 科	865	863	858	857	905
婦 人 科	252	253	289	263	306
泌 尿 器 科	236(8)	245(9)	257(11)	323(14)	406(19)
整 形 外 科	325	349	355	361	402
形 成 外 科	145	153	153	148	122
そ の 他	132	109	123	115	111

※各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。
泌尿器科の（ ）内は小線源治療数（外数）

主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	部 位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
頭 頸 部 が ん	383	361	336	子 宮 頸 が ん	51	28	40
食 道 が ん	124	134	126	(円錐切除)	55	42	65
肺 が ん	241	260	261	子 宮 体 が ん	64	71	65
乳 が ん	452	414	466	卵 巢 が ん	50	39	53
胃 が ん	144	145	129	前 立 腺 が ん	33	30	41
大 腸 が ん	409	388	441	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍	81	69	97
肝 ・ 胆 が ん	92	90	83	I V R	1,379	1,706	1,572
膵 臓 が ん	75	96	77	造 血 幹 細 胞 同 種	5	8	9
				移 植 自 家	12	9	10

※がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

薬剤業務状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
処 方	枚 数	総 数	77,841	73,181	82,986	89,834	89,872
		外 来	2,436	2,682	5,573	6,100	6,337
		入 院	75,405	70,499	77,413	83,734	83,535
方	剤 数	総 数	134,311	126,993	150,721	168,590	165,052
		外 来	9,186	10,673	23,073	25,892	26,148
		入 院	125,125	116,320	127,648	142,698	138,904
方	延 剤 数	総 数	991,479	942,408	1,272,802	1,467,562	1,426,510
		外 来	171,976	181,421	410,631	484,612	499,858
		入 院	819,503	760,987	862,171	982,950	926,652
治 験 処 方 枚 数		総 数	1,295	1,642	1,542	1,338	1,222
		外 来	1,230	1,561	1,411	1,283	1,127
		入 院	65	81	131	55	95
注 射	枚 数	総 数	143,653	135,544	144,427	153,950	158,877
		外 来	40,315	39,550	38,447	37,166	37,522
		入 院	103,338	95,994	105,980	116,784	121,355
方	剤 数	総 数	527,468	507,816	549,102	579,874	601,036
		外 来	143,943	145,067	147,079	144,006	146,026
		入 院	383,525	362,749	402,023	435,868	455,010
外来患者指導 ^{*1}	常用薬調査	人 数	4,895	5,399	5,470	5,841	6,018
	窓口指導	件 数	219	241	204	211	214
外来抗がん剤調製数 ^{*2}	件数(患者数)	24,408	24,289	24,611	23,657	23,767	
	剤 数	39,090	39,410	39,217	37,627	38,045	
外来抗がん剤調製数 ^{*3} (治験)	件数(患者数)	1,890	1,894	1,848	1,381	1,455	
	剤 数	2,669	2,606	2,616	2,299	2,541	
入院抗がん剤調製数 ^{*4} (治験を含む)	件数(患者数)	7,302	7,520	8,871	9,757	9,305	
	剤 数	10,266	9,517	11,646	13,499	13,082	
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数		5,142	4,649	5,705	6,026	5,189	
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数		16,714	15,654	21,006	14,958	14,838	
T P N 調 製 件 数		2,090	2,039	2,143	2,503	3,789	
T D M 実 施 件 数		318	287	454	355	448	

* 1 外来患者指導関連は、調剤科窓口で薬剤師が実施した分のみを計上

* 2 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上

* 3 外来抗がん剤調製数(治験)は、薬剤師が調製した分のみを計上(*2の外数)

* 4 入院抗がん剤調製数(治験を含む)は、薬剤師が調製した分のみを計上

臨床薬剤業務状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
薬 剤 管 理 指 導 数	人 数	7,293	7,319	9,236	11,072	11,729
	算定件数	9,014	9,001	11,634	14,342	15,138
退院時薬剤情報管理指導件数		1,465	2,029	3,100	3,726	3,620
病棟薬剤業務実施加算件数 [*]		22,624	20,589	22,931	25,121	25,249
プ レ ア ボ イ ド 報 告 件 数		51	44	52	36	14

* 病棟薬剤業務実施加算件数は実施加算1及び2の総数を計上

院外処方せん交付状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
処方せん総枚数	62,696	62,634	62,900	61,375	63,119
院内処方せん枚数(外来)	2,436	2,682	5,573	6,100	6,337
院外処方せん枚数	60,260	59,952	57,327	55,275	56,782
比率 $\left(\frac{\text{院外処方せん枚数}}{\text{処方せん総枚数}}\right) \%$	96.1	95.7	91.1	90.1	90.0

血液使用状況

1. 血液使用量

(単位：単位)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自 己 血 液	10	10	12	8	8
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 液	4,340	4,254	5,338	5,208	5,648
他 の 赤 血 球 製 剤	0	0	0	0	0
凍 結 血 漿	1,196	1,108	1,058	1,046	1,190
血 小 板	7,895	7,205	11,300	12,995	11,325

(注) 全血製剤は血液200 mlを1単位、成分製剤は血液200 mlに由来する成分を1単位とする。

他の赤血球製剤：解凍赤血球、洗浄赤血球等

2. 検査件数

(単位：件)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ク ロ ス マ ッ チ	2,242	2,277	2,829	2,749	2,998
血 液 型 (A B O)	8,912	9,663	9,943	10,277	11,017
R H 因 子	8,912	9,663	9,943	10,277	11,017
間 接 ク ー ム ス 試 験	4,446	5,089	5,307	5,425	5,768
抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ	8,909	9,662	9,942	10,276	11,017
直 接 ク ー ム ス 試 験	24	35	17	24	17

治験等実施件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
治 験	219	232	245	245	254
企業治験のみ (内 拡大治験)	(2)	(1)	(3)	(3)	(3)
製造販売後臨床試験	8	19	18	11	10
製販後使用成績調査	42	47	50	44	19
そ の 他	0	0	0	0	0
企業治験合計 治験+製販後使用成績調査 (新規依頼分)	261 (46)	279 (42)	295 (45)	289 (54)	273 (61)
医師主導治験合計 (新規依頼分)	24 (4)	24 (3)	22 (5)	19 (1)	19 (5)
企業治験+医師主導治験 (製販後臨床試験、成績調査除く)	243	256	267	264	273

臨床研究件数

(各年度末時点)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施中の臨床研究数 (臨床研究法対象分)	109	118	120	147	139
実施中の臨床研究数 (人を対象とする生命科学・医学系 研究に関する倫理指針対象分)	720	714	690	665	670
合 計	829	832	810	812	809

死体解剖数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
死 亡 患 者 数	251	231	253	323	315
解 剖 数	2	0	0	0	1
解 剖 率	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0

がんゲノム外来件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件 数	396	409	363	441	566

エキスパートパネル件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
検 討 症 例 数	385	450	441	443	546

遺伝カウンセリング件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件 数	280	188	189	166	234

セカンドオピニオン

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件 数	1,245	1,276	1,231	1,112	1,148

相談件数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
医療社会福祉相談	5,084	5,866	6,159	7,503	7,400
〔内訳 電話相談〕	2,598	3,014	2,859	3,641	3,327
〔面接相談〕	2,422	2,816	3,250	3,822	4,031
〔メール相談〕	64	36	50	40	42
就 労 相 談	7	11	9	17	19
就 職 相 談	47	60	65	106	102
両 立 相 談	0	4	4	4	5

研究業務

愛知県がんセンターは、がん患者の診断治療を行うのみならず、明日のがん医療につながる研究業務の実施も主たる設置目的の一つに含まれている。この目的のため、病院部門における臨床研究と研究所部門における疫学研究・トランスレーショナル研究の推進と統合を図り、総合がんセンターとしての機能を発揮している。

令和8年度における研究課題は、次のとおりである。

重点プロジェクト研究課題

がんゲノム予防医療プロジェクト

- 1 がん予防およびサバイバーシップにおける環境要因と遺伝的要因の統合的研究

がん超精密医療プロジェクト

- 1 分子標的治療薬を中心とした抗悪性腫瘍薬に対する効果予測、耐性機序解明に関わる基盤形成
- 2 腹膜播種に対する超精密医療の実現

がん免疫ゲノムプロジェクト

- 1 脂質を基軸とした新しいがん免疫抑制機構の発見と、その分子機構の解析

がん情報革命プロジェクト

- 1 愛知県のがん診療の質向上に資する、院内がん登録と全国がん登録情報の活用基盤の発展と応用
- 2 愛知県がんセンターにおける多種データ資源を活用したAI開発・データ解析基盤の開発

研究所における分野別研究課題

がん情報・対策研究分野

- 1 がん登録情報を用いた記述疫学的手法によるがん対策・医療の評価
- 2 記述疫学研究に基づくがん情報の整備と発信

がん予防研究分野

- 1 各種がんに対する分析疫学的解析による、がんリスクと繋がる遺伝的・環境的要因、並びにその組み合わせ効果の解明
- 2 上記結果に基づく個別化予防プログラムの開発

がん病態生理学分野

- 1 がんの発症・悪性化における微小環境の役割の解明
- 2 転移の分子メカニズムの解明と予防・治療標的の探索
- 3 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築

分子腫瘍学分野

(選考中)

システム解析学分野

- 1 動的数理モデリングに基づくがん細胞制御システム推定手法の開発およびその応用
- 2 機械学習に基づくタンパク質間相互作用予測手法の開発およびその応用
- 3 大規模臨床検体シーケンスデータ解析に基づくがんエコシステムの探求

腫瘍制御学分野

- 1 がんにおけるシグナル制御破綻機構の解明および治療戦略創出への応用
- 2 細胞間コミュニケーションを介したがん進展メカニズムの解明

腫瘍免疫応答研究分野

- 1 キメラ抗原受容体ナチュラルキラー細胞による養子免疫細胞療法の確立
- 2 ナチュラルキラー細胞のがん免疫を賦活化する創薬の探索・開発とその作用機序の解明

腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野

(選考中)

分子診断トランスレーショナルリサーチ分野

(選考中)

がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 各種固形腫瘍に対する新規分子標的治療開発
- 2 承認済み分子標的薬における初期・獲得耐性機序の解明・克服

異分野融合研究開発分野

- 1 バイオインフォマティクスや機械学習を活用した革新的な創薬や医療の開発

先端イノベーション研究開発分

- 1 ケミカルバイオロジーと有機合成化学を基盤とする新規抗がん剤の開発

特許の状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
発 明	件 数	1	7	2	2	2
出 願	件 数	2	7	2	1	3
登 録 件 数	年 度 当 初	16	13	10	10	7
	新 規	1	0	3	0	1
	権 利 消 滅	4	3	3	3	0
	年 度 末	13	10	10	7	8
実施許諾件数	年 度 当 初	3	4	2	2	0
	新 規	1	0	0	0	0
	満了・解約	0	2	0	2	0
	年 度 末	4	2	2	0	0

(注) 出願件数には外国出願、国際（PCT）出願を含む。

研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
111	116	93	96	72

公的研究費獲得状況

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
文部科学省(日本学術振興会)補助金	金 額	65,179	140,754	126,220	126,077	99,956
	件 数	21	25	18	3	11
文部科学省(日本学術振興会)基金	金 額	86,177	90,870	80,099	92,817	109,823
	件 数	72	75	79	81	67
厚生労働省補助金	金 額	8,130	13,291	1,200	5,050	4,850
	件 数	6	6	3	3	3
AMED(日本医療研究開発機構)	金 額	246,581	289,342	260,277	342,384	243,328
	件 数	49	45	43	51	46
JST(科学技術振興機構)	金 額	77,174	53,877	39,000	26,658	12,350
	件 数	3	3	1	3	2
国立がん研究センター研究開発費	金 額	10,610	12,000	10,670	7,106	6,256
	件 数	6	8	18	16	14
そ の 他	金 額	1,320	330	0	19,096	6,845
	件 数	1	1	0	2	1
計	金 額	495,171	600,464	517,466	619,188	483,408
	件 数	158	163	162	159	144

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く

【参考：研究所分のみ】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
文部科学省(日本学術振興会)補助金	金 額	63,359	139,194	126,090	125,427	99,826
	件 数	19	23	17	2	10
文部科学省(日本学術振興会)基金	金 額	41,639	48,464	39,975	63,262	81,395
	件 数	33	37	34	43	41
厚生労働省補助金	金 額	1,050	850	900	650	650
	件 数	3	2	2	1	1
AMED(日本医療研究開発機構)	金 額	205,177	193,336	192,352	217,097	139,757
	件 数	26	23	20	22	17
JST(科学技術振興機構)	金 額	77,174	53,877	39,000	26,658	12,350
	件 数	3	3	1	3	2
国立がん研究センター研究開発費	金 額	4,500	3,000	3,500	3,300	3,200
	件 数	5	5	7	6	5
そ の 他	金 額	1,320	330	0	150	0
	件 数	1	1	0	1	0
計	金 額	394,219	439,051	401,817	436,544	337,178
	件 数	90	94	81	78	76

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く

類似病院との比較

項 目	愛知県	順 位	静岡県	千葉県	宮城県	埼玉県	神奈川県	大阪府	
	がんセンター		静岡がんセンター	がんセンター	がんセンター (独立行政法人)	がんセンター (独立行政法人)	がんセンター (独立行政法人)	国際がんセンター (独立行政法人)	
事業開始年月	S39.12.1		H14.6.24	S47.11.1	S42.4.1	S50.11.1	S38.4.15	S34.9.15	
病床数	500	3	615	450	383	503	415	500	
※ 稼働状況	病床利用率 (%)	72.0	6	90.6	74.9	67.8	72.4	82.7	86.4
	平均在院日数 (日)	10.7	3	12.3	11.2	15.6	12.3	8.6	7.6
	1日平均外来患者数 (人)	576	6	1,346	596	347	888	1,112	1,254
※ 収益状況	入院患者1人1日当たり診療収入 (円)	81,006	3	78,813	74,323	65,502	79,975	91,978	101,688
	外来患者1人1日当たり診療収入 (円)	72,489	1	55,119	44,372	53,956	45,055	46,239	39,878
※ 繰入金の状況	1病床当たり一般会計繰入金額 (千円)	7,181	5	11,068	10,432	4,854	6,494	5,215	3,042
	一般会計繰入金対経常収益 (%)	13.7	4	15.5	21.5	14.3	13.1	7.7	4.7
※ 経営状況	経常収支比率 (%)	99.6	1	96.4	93.2	95.6	94.6	96.8	97.8
	医業収支比率 (%)	93.0	5	85.9	73.1	95.6	99.4	96.7	102.6
	修正医業収支比率 (%)	87.7	3	85.5	70.1	82.0	86.7	89.6	97.8
	職員給与費対医業収益 (%)	40.4	4	45.7	63.1	41.0	39.5	33.7	33.9
	病床1床当たり実質損益 (千円)	△ 7,403	3	△ 14,043	△ 13,990	△ 6,410	△ 9,357	△ 7,469	△ 4,858
	病床1床当たり純利益 (△) 純損失 (千円)	△ 223	1	△ 2,975	△ 3,557	△ 1,556	△ 2,863	△ 2,254	△ 1,816
	病床1床当たり概算キャッシュフロー発生額 (千円)	2,942	1	507	1,853	1,012	698	2,128	2,048

注1 数値は「令和6年度地方公営企業決算の状況」の報告値を愛知県が独自に集計・分析したものから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による。

・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金) / 医業費用 × 100

・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△) 純損失－他会計繰入金) / 許可病床数

・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△) 純損失 + 減価償却費 + 資産減耗費 + 長期前払消費税償却) / 許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」を参照のこと。

外来診療案内

(令和8年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分（自動再来受付機は午前8時）から午前11時30分（予約の場合は午後5時）まで
- ◆ 診療日（土曜・日曜・祝日・年末年始は休診）

診 療 科	診療内容	診察日
消化器内科	消化器疾患	月～金
呼吸器内科	呼吸器疾患	月～金
循環器科	循環器疾患	月・火・木
血液・細胞療法科	造血器・その他	月～金
薬物療法科	固形腫瘍・肉腫・その他	月～金
頭頸部外科	口腔・耳鼻咽喉・甲状腺	月～金
形成外科	形態治療・機能再建	月～木
呼吸器外科	肺・縦隔疾患	月～金
乳腺科	乳腺疾患	月～金
消化器外科	消化器系統・食道疾患	月～金
整形外科	整形外科疾患	月～水・金
脳神経外科	脳神経疾患	月・水～金
泌尿器科	泌尿器疾患	月～金
婦人科	婦人科疾患	月～金
皮膚科	皮膚疾患	火～木
眼科	眼科疾患	火(午前)・金(午後)
放射線診断・IVR科	放射線診断・IVR・肝腫瘍	月～金
放射線治療科	放射線治療・その他	月～金
精神腫瘍科	病態に応じた症状緩和・治療	月～金 (予約制)
緩和ケア科	緩和ケア	月～金 (予約制)
	ペインクリニック	病態に応じた症状緩和・治療 水 (予約制)
	リンパ浮腫	病態に応じた症状緩和・治療 火・木 (予約制)
ゲノム医療センター	遺伝カウンセリング外来	遺伝カウンセリング・遺伝学的検査の提供 月～金 (予約制)
	がんゲノム外来	がん遺伝子パネル検査の提供 月～金 (予約制)

- ※1 遺伝カウンセリング外来及びがんゲノム外来は、自費診療の場合があります。
- ※2 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています（完全予約制・自費診療）。

入院案内

(令和8年6月1日現在)

- ◆ 入院の申込み
 - 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
 - 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「身元引受書兼支払保証書」に記入して病棟1階入院受付へ提出してください。
 - 3 特別室（個室）に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。
なお、特別室（個室）を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

区 分	A室	B室	C室	D室
室 料（1日につき）	37,400円	20,900円	14,300円	8,800円

(税込)

◆ 面 会

【面会時間等】

平日：午後2時から午後7時まで 土日祝日 午前10時から午後7時まで

【面会時のお願い】

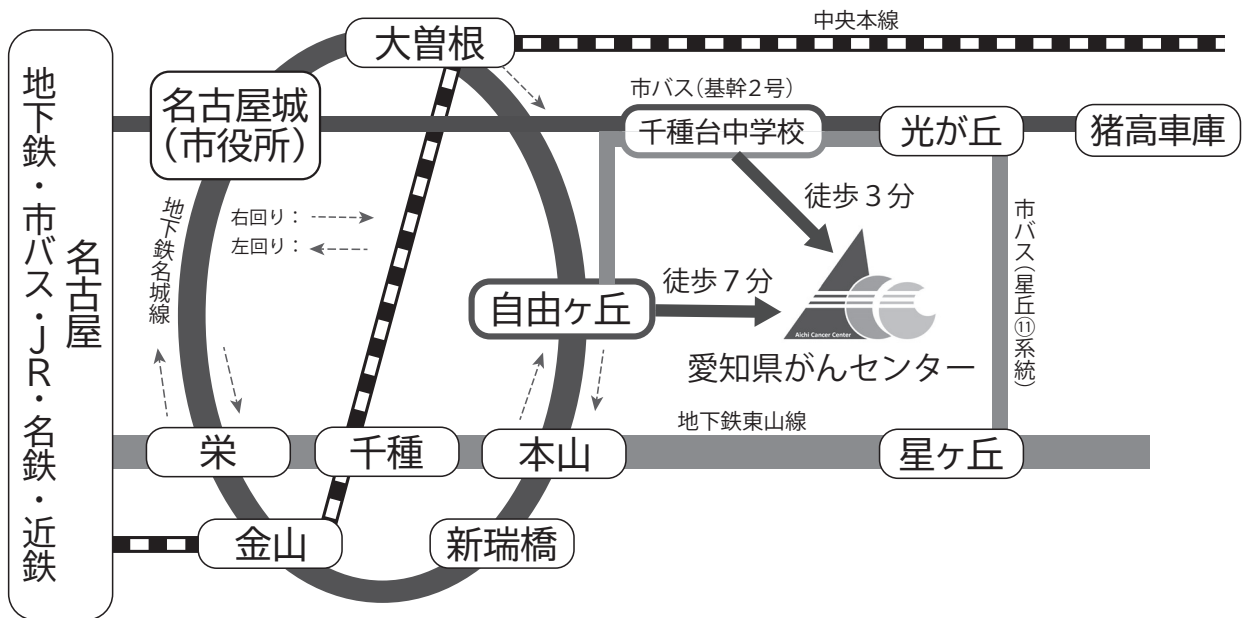
- ・感冒症状がある方は、面会を行わないでください。
- ・病棟にお越しの際は、不織布マスクの着用、手指消毒にご協力をお願いいたします。
- ・面会時は、お互い不織布マスク着用をお願いします。
- ・1日人数の上限（1日2名、30分程度）を超えての交代面会はできません。
- ・直接病棟には入らず、ナースステーションで患者氏名をお伝え下さい。職員が患者さんをお呼びいたします。

【面会場所】

病棟のデイルーム、病院1階のアトリウム、個室の病室内、病棟の面談室など

- ※ 面会時、小さなお子様をお連れの際は、事前に病棟までご連絡ください。
- ※ 基準はあくまでも原則です。基準を超えた面会のご希望などがある場合には、個別に検討しておりますので病棟スタッフにお伝えください。
- ※ 市中の感染状況、院内感染の発生状況によっては、上記内容が変更になる可能性があります。

交通案内



地下鉄利用 「自由ヶ丘」 2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約30分】
東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曾根・栄から【所要時間：大曾根から約20分】
名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から 【所要時間：金山から35分】
名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

市バス利用 「千種台中学校」 から徒歩3分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約40分】
基幹2系統「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から 【所要時間：星ヶ丘から約20分】
星ヶ丘①系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

自家用車利用 本山交差点から北へ7分、平和公園の北西

- 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋ICより、名古屋長久手線（県道60号線）を西（星ヶ丘方面）へ2,600m進み、「打越」交差点を右折、1,600m先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m先の「希望ヶ丘4」交差点を左折、300m先の左側
- 名古屋高速道路「四谷出口」から北へ約10分
四谷出口より800m先の「四谷通3」交差点を左折、北へ1,500m進み「猫洞通2」交差点を左折、1,300m先の「自由ヶ丘3」交差点を右折、400m先の右側

建物及び医療機器の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター概要
令和8年度

令和8年6月発行

発行所 愛知県がんセンター
名古屋市千種区鹿子殿1番1号
電話 052-762-6111 (〒464-8681)
<https://cancer-c.pref.aichi.jp>

印刷 藤成印刷株式会社
名古屋市昭和区塩付通6丁目7番2号 (〒466-0022)
電話 052-841-0588 FAX 052-841-0664



愛知県がんセンター
Aichi Cancer Center

特定機能病院／都道府県がん診療連携拠点病院／がんゲノム医療拠点病院